

消費者教育フェスタ 実践事例の報告

静岡大学 消費生活研究サークル

黒木香菜子、稲森桃子、小川美乃里、
川口恭奈、佐野千夏、原規佳子



報告の流れ

- ① サークルの紹介
- ② 消費者教育教材の作成について
- ③ 紙芝居実演（ダイジェスト版）
- ④ まとめ
- ⑤ 今後の展開

消費生活研究サークルの紹介

- ▶ 2006年創設 静岡大学公認サークル
- ▶ 消費者問題や消費者行政への理解を深める
- ▶ その知識を生かし、地域社会への貢献を目的とする
- ▶ 主に教育学部 総合科学教育課程 消費生活科学専攻の学生が所属している
- ▶ 現在 3年生6名、2年生11名、1年生7名

消費生活研究サークルの紹介

▶ 主な活動

- ▶ 消費者教育の教材作成
- ▶ 資格試験の勉強
- ▶ 全国消費者フォーラムへの参加



- ▶ 日本消費者教育学会の全国大会にて、教材発表と教材の配布
- ▶ 消費者団体「消費者問題ネットワークしずおか」との活動（消費者教育推進フォーラム）

消費生活研究サークルの紹介

▶ 消費者教育教材の作成について



平成27年度に、「今日からあなたも自立した消費者」が消費者教育支援センターの優秀な消費者教育教材として、**奨励賞**を受賞！！

消費者教育教材の作成について

- ▶ 私たちの経験上...
 - ▶ 消費者教育を学んだ記憶がない
 - ▶ テスト前に、機械的に覚えるだけだった



- ▶ 消費生活の分野は**印象に残りにくい**
- ▶ 暗記ばかりで**本質が理解できない**

教材作成の検討

消費者教育教材の作成

実際に使って
もらうことを想定

- ▶ 消費者教育教材作成にあたって
 - ▶ 誰もがわかるように工夫
 - ▶ 現場のニーズを考える
 - 実態を把握する
 - ・ 関連する資料を読む
 - ・ 直接先生方にお話を伺う
 - ▶ 教える的を絞る（必要最小限）

消費者教育教材の作成について

- ▶ 今まで扱ってきたテーマ
 - ▶ 消費者の権利と責任
 - ▶ キャッチセールス
 - ▶ デート商法
 - ▶ 未公開株
 - ▶ 出会い系サイト
 - ▶ クーリングオフ
 - ▶ 消費者市民社会



など

消費者教育教材の作成について

▶ 教材作成をするために

- ▶ 学習指導要領を読む
- ▶ 既存の教材の研究
- ▶ 現場のニーズ



これらを踏まえて、
サークル内で話し合い
をする

▶ 苦労話

- ▶ DVD教材を作成するための技術
- ▶ 部員同士の日程調整

消費者教育教材の作成について

▶ これまでの活動で印象に残っていること

- ▶ 仲間の新たな才能の気づき
- ▶ 教材作成後の達成感

紙芝居実演

- ▶ 「消費者の権利と責任」の紙芝居
- ▶ 所要時間：約5分
- ▶ 登場人物と背景
 - ▶ 権利のある国に住むしおりさん
 - ▶ 権利のない国に住むあゆむさん
 - ▶ 2人がお互いの国へ遊びに行く中で、消費者の権利と責任が学べるようなストーリー展開

まとめ

- ▶ 消費者教育に取り組んでみて...
 - ▶ 教材作成をすることで、自分たち自身も知識をつけることができた
 - ▶ 「学ばないと情報発信はできない」のでまずは「学ぶ」ことから始めるべき

教材作成のポイントは...

「何を理解すれば教えたことになるのか」

という具体的な目標設定の重要性

自分たちで消費者教育の「ゴール」を設定する

現在の活動と今後の展開

▶ 現在の活動

- ▶ 静岡市が作成した消費者教育教材「エブリデイ消費者！」の改定に携わっている

▶ 今後の活動

- ▶ 静岡県浜松市 消費生活展への参加を検討
- ▶ 全国消費者フォーラムでの発表を検討